

フランス規格協会（AFNOR） との間の規格開発に係る協力協定の締結について

平成 30 年 10 月 15 日

日本規格協会

1. 本件の概要

一般財団法人日本規格協会（JSA） 理事長 揖斐敏夫とフランス規格協会（AFNOR）会長のオリビエペイラット氏は、2018 年 10 月 15 日、フランス・パリのフランス規格協会（AFNOR）において協力協定を締結し、サービス、社会システム、先端技術などの新しい分野に関する規格の共同開発をはじめ、国際標準化分野の民間ベースでの協力など、幅広い分野で連携を進めていきます。

2. 背景

経済社会のグローバル化、第四次産業革命によるイノベーション、IoT によるつながる社会の到来、高齢社会の進展などを背景として、サービス、社会システムを含む新しい分野のグローバルな規格開発のニーズが高まり、変化のスピードが速くなる中、各国それぞれでの対応では限界があることが顕在化しています。日本規格協会（JSA）と世界最大級の標準化機関である AFNOR は、有力な標準化機関同士の連携の強化が今後一層重要になるという認識で一致し、民間主導での新しい分野の共同規格開発、ISO/IEC などの国際規格開発での具体的な協力を推進していくため、協力協定を締結することになったものです。

なお、JSA は欧州の主要な標準化機関との連携協力体制の構築を進めており、本年 3 月 26 日には世界最大の標準化機関である英国規格協会（BSI）と、また、本年 6 月 13 日にはドイツ規格協会（DIN）及びドイツ電気電子情報技術委員会（DKE）との協力覚書／協定を、それぞれ東京、ドイツ・ベルリンで締結したところであり、AFNOR との協力協定はそれらに続く事例です。

3. 意義

日本規格協会（JSA）は、我が国の標準化ナショナルセンターとして、透明性、公平性及び客観性を確保した民間規格として新たに「JSA 規格」（JSAS:ジェイサス）を開発・発行する制度を昨年 6 月に創設したところです。AFNOR、DIN/DKE 及び BSI との連携により、欧州地域における規格開発活動の連携が強化され、民間規格から ISO/IEC などの国際規格に至るまで幅広い分野での協力が可能となり、標準化の多様なニーズに具体的かつ柔軟に応えていくことができるものと期待しています。更に、他の有力な海外の標準化機関との協力関係の構築にも積極的に取り組んでいるところです。

4. 協力協定の概要

AFNOR との協力協定に記された協力活動：

- ① 共同規格開発
- ② ISO/IEC における国際規格開発の協力活動
- ③ 情報交換（規格開発プログラム・システム、専門家の交流、人材育成）
- ④ セミナー、シンポジウム等の共催



日本規格協会の揖斐理事長（左）、 AFNOR のオリビエペイラット会長（右）